

議員特別研修実施報告書

報告議員名	加藤勝義	報告日	令和5年3月31日
調査研究・研修等 名称	財政基礎研修・あなたのまちの財政比較分析編 財政状況資料集Part2		
実施日	令和5年3月31日		
会場	東京都・リファレンス新有楽町ビル		
調査研究・研修等の 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・参加自治体の財政分析 ・財政比較分析表の活用方法マスター ・各指標の数値の内訳分析 ・財政調整基金残高はどれくらいあれば良いか 		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>公表されている各市町村の財政状況資料を基に、当研修に参加している自治体の分析説明を講師が行った。それぞれの自治体の財務の特徴から説明があった。令和2年度の資料であったが、その中で横手市の目的別歳出が全国の類似団体平均よりも多いのが、土木費と農林水産業費が目立つとしていた。土木費が多いのは、合併により行政面積が拡大したために、人口密度が少ない割に老朽化しているインフラ整備への支出が理由。また、農林水産業費が多いのは基幹産業である農業に、農地整備などに多くを支出しているからとの事。土木費については、講師の説明になかったが、豪雪地帯横手の雪対策費も要因と考える。雪の降らない地域出身の講師は、雪対策費が土木費に計上されていることが知らなかったのか。資料の中での自治体の黒字赤字は、実質単年度収支を前年度と比べて、どうなっているのか注視する事が大切だという事。これは毎年プラスではおかしい。+となったら次年度は市民に還元する努力が必要で、その為に一でも構わない事。財政は常にチェックする事が大切とこの講習で改めて認識を新たにした。</p>		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。